

注3

大学番号：私228

[平成29年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 都市生活学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人松蔭女子学院  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	カチョウ 課長 ウオズミ ヒデオ 魚住 秀雄
電話番号	078-882-6121
（夜間）	078-882-6121
F A X	078-801-1185
e-mail	somu-ka@shoin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 「設置計画履行状況報告書」作成に係る全体の注意事項

### 【注意事項】

提出いただいた報告書に基づき、調査を実施しますので、本報告書は「認可申請書」や「設置届出書」と同様に、事実即して正確に記すようにお願いします。

なお、本報告書提出後、数値等に誤りがあったとしても原則差し替えは認めません。

提出前に今一度、誤りがないかを確認してください。

1. 本報告書は、設置計画について、認可又は届出時から完成年度までの履行状況を報告するための様式です。完成年度を超えてACの対象となっている場合は、別様式の「改善意見等対応状況報告書」にて報告してください。
2. 本報告書は、「設置区分」ごとに作成してください。
  - ※「設置区分」とは、設置時の「基本計画書」の「計画の区分」（「学部の設置」、「学部の学科の設置」等）に記載した区分のことです。
  - ※「大学設置」や「学部の設置」等で、AC対象学科等が複数ある場合、表紙は1枚のみ作成し、対象学科等の報告書を学科等ごとに順次添付してください。
  - ※同一「設置区分」の中に、完成年度中の学科等と完成年度を超えてAC対象となっている学科等がある場合（学部設置で修業年限の異なる複数の学科を設置した場合や、研究科設置で修士課程と博士課程を同時に設置した場合等は、報告書の種別に（「設置区分」の中で「設置計画履行状況報告書」と「改善意見等対応状況報告書」に分けて）作成してください。
3. 本報告書の全ての項目は、報告書提出年度の5月1日現在で作成してください。
4. 様式中の項目にある注意事項は削除せず、記載したままにしてください。
  - ※エクセルファイルのコメント機能で記載している注意事項等は提出時には削除してください。
5. 全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。
6. 表紙にインデックス（大学名称を記載したもの）を付すとともに、目次を含めて項目ごとにインデックス（番号のみ）を添付してください。
7. 本報告は、A4サイズ縦型、両面印刷、左とじ、左側2穴空けとしてください。（背表紙などは不要です。）
8. 「4. 既設大学等の状況」及び「7. その他全般的事項」を除き、昨年度以前に報告した箇所は黒字で残し、本年度に変更する箇所は赤字・見え消し修正して記載してください。
9. 該当がない項目については様式を削除せず、「該当なし」と記載の上、インデックスも貼付してください。
10. 必ず報告年度用の様式を使用して作成してください。なお、報告書の様式は文部科学省ホームページ※に掲載していますので、ダウンロードしてください。
  - ※文部科学省ホームページ＞教育＞大学・大学院、専門教育＞大学の設置認可制度＞各種手続き＞設置計画履行状況報告書等の様式等  
([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ninka/1303157.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1303157.htm))
11. 教職大学院については、別様式の「補足説明資料」も作成してください。
12. 国立大学については、「認可」を「意見伺い」、「届出」を「事前伺い」と修正のうえ、報告書を作成してください。

【昨年度からの主な様式変更箇所】

- ① 「1 調査対象大学等の概要等」の「(5)－①調査対象学部等の名称等」について、「学位又は学科の分野」欄を新たに設けた。
- ② 「5 教員組織の状況」について、「(2)－①設置基準上の必要専任教員数」の項目を新たに設けた。

# 目次

人間科学部

<都市生活学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人松蔭女子学院

## (2) 大学名

神戸松蔭女子学院大学

## (3) 大学の位置

〒675-0015

兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ ユタカ) 中村 豊 (平成28年4月)		
学長	(マチダ ショウジ) 待田 昌二 (平成28年4月)		
学部長	(オク ミサコ) 奥 美佐子 (平成29年4月)		
学科長等	(トリイ サクラ) 鳥居 さくら (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 都市生活学科 学士(人間科学)	家政関係	4年	100人	0人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	0.91 倍	
志願者数	447 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	431 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	343 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	91 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.91									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	91 [ - ] ( - )	- [ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	91 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	91 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	91 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<人間科学部 都市生活学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	松蔭とキリスト教	神戸松蔭とキリスト教	1前	2								兼1		
		キリスト教の基礎	1後	2									兼1	
		旧約聖書を学ぶ	2・3後		2								兼1	
		新約聖書を学ぶ	2・3前		2								兼1	
		キリスト教思想Ⅰ	2・3前		2								兼1	
		キリスト教の歴史Ⅰ	2・3後		2								兼1	
		キリスト教と文化Ⅰ	2・3後		2								兼1	
		現代のキリスト教	2・3前		2								兼1	
		キリスト教と諸宗教	2・3前		2								兼1	
		キリスト教礼拝学	2・3前		2								兼2	
		パイプオルガン入門A	1・2前		2								兼1	
		パイプオルガン入門B	1・2後		2								兼1	
		パイプオルガン実習A	2・3前		1								兼1	
		パイプオルガン実習B	2・3後		1								兼1	
		教会音楽入門A	2・3前		2								兼1	
教会音楽入門B	2・3後		2								兼1			
全学共通科目	キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1					兼1	キャリア担当教員の再編により担当者変更(29)	
		キャリアデザインⅡ	2前		2							兼1		
		キャリアデザイン研究	3前・後		2								兼1	
		インターンシップ	3前		1								兼1	
		企業・職種・業界の基礎知識	2前・後		2								兼2	
		簿記・会計の基礎	1・2前・後		2								兼1	
		簿記・会計の実践	1・2前・後		2								兼21	開講クラス数削減のための変更(29)
		ホスピタリティ・マネジメント	1・2前・後		2								兼1	
ファイナンシャル・プランニング	2・3前・後		2								兼2			
全学共通科目	コミュニケーション	伝わる文章A	1・2前		2							兼2		
		伝わる文章B	1・2後		2							兼2		
		伝わる話しことば	2・3前・後		2								兼1	
		コミュニケーション・スキル	1・2前・後		2								兼1	
		ディベート演習Ⅰ	2・3前		2								兼1	
		ディベート演習Ⅱ	2・3後		2								兼1	
全学共通科目	情報	情報リテラシーA	1前		1		1	1				兼32	授業担当者退任のための変更(29)	
		情報リテラシーB	1後		1		1	1				兼32	授業担当者退任のための変更(29)	
		WebリテラシーA	1前		1		1	1						
		WebリテラシーB	1後		1		1	1						
		WebプログラミングⅠA	2前		1			1						
		WebプログラミングⅠB	2後		1			1						
		WebプログラミングⅡA	2前		1		1							
		WebプログラミングⅡB	2後		1		1							
		コンピュータグラフィックスとアートA	1前		1								兼1	
		コンピュータグラフィックスとアートB	1後		1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	教養	現代の倫理		2							兼1	開講クラス数削減のための変更(29) 開講クラス数削減のための変更(29) 開講クラス数削減のための変更(29)
		日本の文学	1・2前・後	2							兼1	
		世界の文学	1・2前・後	2							兼1	
		児童文学	1・2前・後	2							兼1	
		教養としての音楽	1・2前・後	2							兼1	
		教養としての美術	1・2前・後	2							兼1	
		日本の歴史	1・2前	2							兼1	
		世界の歴史	1・2前・後	2							兼1	
		社会学概論	1・2前・後	2							兼1	
		心理学概論	1・2前・後	2							兼1	
		社会心理学	1・2前	2							兼1	
		人間関係論	1・2後	2							兼1	
		社会福祉概論	1・2前	2							兼1	
		ボランティア論	1・2前・後	2							兼1	
		現代社会と政治	1・2前・後	2							兼1	
		現代社会と経済	1・2前・後	2							兼1	
		現代社会とメディア	1・2前・後	2							兼1	
		くらしと憲法	1・2前・後	2							兼1	
		生物学入門	1・2前	2							兼1	
		地球環境と人間	1・2前	2							兼1	
		くらしの中の統計学	1・2後	2							兼1	
		くらしと医療	1・2前	2							兼1	
		こころの健康	1・2前・後	2							兼1	
		ジェンダー論入門	1・2前	2							兼1	
		女性とメディア	1・2後	2							兼1	
		女性と法	1・2前・後	2							兼1	
		現代の教養Ⅰ	1・2前	2							兼1	
		現代の教養Ⅱ	1・2前	2							兼1	
		アジア史	2・3前	2							兼1	
		ヨーロッパ史	2・3後	2							兼1	
		文化人類学	2・3後	2							兼1	
		経済学	2・3前	2							兼1	
		現代の教養Ⅳ	2・3後	2							兼1	
現代の教養Ⅴ	2・3前	2							兼1			
教養演習Ⅰ	2・3後	2							兼1			
リスクマネジメント論	2・3後	2							兼1			
健康スポーツ	女性と健康	1・2前・後		2						兼1	開講クラス数削減のための変更(29) 開講クラス数削減のための変更(29) 開講クラス数削減のための変更(29) 開講クラス数増加のための変更(29)	
	食物と健康	1・2後		2						兼1		
	健康・スポーツ総論	1・2前・後		2						兼1		
	スポーツ実習	1・2前・後		1						兼45		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	English Communication A	2前		1							兼3	
	English Communication B	2後		1							兼3	
	General English A	1前	2								兼56	
	General English B	1後	2								兼56	
	English Writing A	2前		1							兼3	
	English Writing B	2後		1							兼3	
	映画で学ぶ英語A	1前		1							兼1	
	映画で学ぶ英語B	1後		1							兼1	
	実践英単語	1前		1							兼1	
	実践英文法	1後		1							兼1	
	基礎英語	1前		1							兼21	
	初級英語	1後		1							兼21	
	中級英語	1前		1							兼1	
	上級英語	1後		1							兼1	
	留学のための英語A	1前		1							兼1	
	留学のための英語B	1後		1							兼1	
	Bilingual Presentation A	1前		1							兼1	
	Bilingual Presentation B	1後		1							兼1	
	Easy English A	1前		1							兼2	
	Easy English B	1後		1							兼2	
	Useful English A	1前		1							兼1	
	Useful English B	1後		1							兼1	
	フランス語IA	1前		1							兼2	
	フランス語IB	1後		1							兼2	
	フランス語IC	1前		1							兼2	
	フランス語ID	1後		1							兼2	
	フランス語IIA	2前		1							兼2	
	フランス語IIB	2後		1							兼2	
	フランス語IIC	2前		1							兼1	
	フランス語IID	2後		1							兼1	
	フランス語IIIA	3前		1							兼1	
	フランス語IIIB	3後		1							兼1	
	フランス語IIIC	3前		1							兼1	
	フランス語IIID	3後		1							兼1	
	やさしいフランス語会話A	2前		1							兼1	
	やさしいフランス語会話B	2後		1							兼1	
	中級実用フランス語A	2前		1							兼1	
	中級実用フランス語B	2後		1							兼1	
	上級実用フランス語A	3前		1							兼1	
	上級実用フランス語B	3後		1							兼1	
	中国語IA	1前		1							兼2	
	中国語IB	1後		1							兼2	
	中国語IC	1前		1							兼2	
	中国語ID	1後		1							兼2	
	中国語IIA	2前		1							兼1	
	中国語IIB	2後		1							兼1	
	中国語IIC	2前		1							兼2	
	中国語IID	2後		1							兼2	
	中国語IIIA	3前		1							兼1	
	中国語IIIB	3後		1							兼1	
時事中国語A	3前		1							兼1		
時事中国語B	3後		1							兼1		
中国語会話A	2前		1							兼1		
中国語会話B	2後		1							兼1		
ビジネス中国語A	2前		1							兼1		
ビジネス中国語B	2後		1							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	韓国語 I A	1前		1								兼32	授業担当者退任のための変更(29)
	韓国語 I B	1後		1								兼32	
	韓国語 I C	1前		1								兼3	
	韓国語 I D	1後		1								兼3	
	韓国語 II A	2前		1								兼1	
	韓国語 II B	2後		1								兼1	
	韓国語 II C	2前		1								兼1	
	韓国語 II D	2後		1								兼1	
	日本語 IA	1前		1								兼1	
	日本語 IB	1後		1								兼1	
	日本語 IC	1前		1								兼1	
	日本語 ID	1後		1								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
専門 教育 科目	必修 科目	生活学概論	1前	2					1			兼1		
		生活の科学基礎 I	1前	2										
		生活の科学基礎 II	1前	2					1					
		生活行動論	1後	2					1					
		都市生活論	1後	2			1							
		基礎演習A	1前	2			1	31		2			兼1	武智准教授退任のための変更(29) 花田教授の職位変更に伴う変更(29)
		基礎演習B	1後	2			1	31		2			兼1	武智准教授退任のための変更(29) 花田教授の職位変更に伴う変更(29)
		都市生活プロジェクト演習A	2前	2			2	2		1				
		都市生活プロジェクト演習B	2後	2			2	2		1				
		都市生活演習A	3前	2			23	54						花田教授の職位変更に伴う変更(29)
		都市生活演習B	3後	2			23	54						花田教授の職位変更に伴う変更(29)
	卒業研究	4通年	8			23	54					花田教授の職位変更に伴う変更(29)		
	共通 選択 科目	衣生活論	1前		2		1	4					花田教授の職位変更に伴う変更(29)	
		食生活論	1前		2			4					武智准教授退任のための変更(29)	
		住生活論	1後		2								兼1	
		生涯発達論	1後		2				1				兼1	
		神戸論	2前		2		1							
		都市文化論	2前		2		1						兼1	
		生活と法	2前		2									
		生活経済学	2前		2				1					
		マーケティング論	2前		2				1					
		消費行動論	2後		2								兼1	
		消費生活論	2前		2				1				兼1	
		基礎栄養学	2前		2				1					
		調理学	2前		2						1			
		調理実習	2後		1				1	1				
	インテリア・コーディネート実習	2後		1								兼1		
	地域連携論	2後		2		1								
生活福祉論	1後		2					1						
都市生活インターンシップ I	3前		2		1									
都市生活インターンシップ II	3前		2		1									
専修 基礎 科目	都市 生活 専修	行動科学基礎演習 I	2前		2				1					
		行動科学基礎演習 II	2後		2				1					
		社会調査基礎演習 I	2前		2		1							
		社会調査基礎演習 II	2後		2									
		生活情報処理実習	2前		1					1				
		社会調査論	1後		2									
		生活統計学	1後		2				1					
		調査集計演習	2後		2					2				
		データ処理法 I	3前		2				1					
		データ処理法 II	3後		2				1					
	被服整理学実験	2後		1		1	4					花田教授の職位変更に伴う変更(29)		
	アパレル生産実習	2後		1										
	被服材料学実験	3後		1		1	4					花田教授の職位変更に伴う変更(29)		
食 ビジ ネス 専修	産学連携プロジェクト演習 A	2前		2		1								
	産学連携プロジェクト演習 B	2後		2		1								
	食と農の地域インターンシップ	2前		2				1						
	食品加工学実験	2後		2				1						
	和洋菓子実習	2後		2					1					
	製パン実習	2後		2					1					
	カフェマネジメント演習	3後		2						1		兼1		
	特別調理実習	3前		2					1					
	官能評価演習	3前		2				1						
フードスペシャリスト論	3後		2				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修基礎科目	生活設計論	2前		2			1					兼1	
	保育・看護学	2前		2									
	家族関係学	2後		2		1							
	情報社会論	2後		2				1					
	共生社会論	2後		2				1					
	パーソナルファイナンス理論	3前		2			1						
	パーソナルファイナンス演習	3後		2			1						
	生活リスクマネジメント論	3前		2			1						
	消費者法	3前		2									兼1
	金融商品学	3後		2			1						
	家族文化論	3前		2		1							
	家族文化演習	3後		2									兼1
	都市文化演習	3前		2		1							
	生活科学科目群	色彩学	2前		2		1	1				兼1	花田教授の職位変更に伴う変更(29)
		家庭電気・機械	2後		2								
		被服繊維学	2前		2		1	1					
		被服材料学	2後		2		1	1					
		被服整理学	2前		2		1	1					
		アパレル企画論	3前		2								
		アパレルデザイン論	3前		2							兼1	
生活行動科目群	被服心理学	2前		2								兼1	
	食行動論	2前		2			1						
	住行動論	2後		2				1					
	香りの科学	3前		2			1						
	化粧心理学	3後		2			1						
	消費生活コンサルティング論	3後		2								兼1	
食の科学科目群	公衆衛生学	2前		2								兼1	
	食品加工学	2前		2			1					兼1	
	食品貯蔵学	2後		2								兼1	
	食品学	3前		2								兼1	
	食品衛生学	3前		2			1						
	発酵学	3前		2			1						
	食品機能学	3後		2								兼1	
	和洋菓子理論	2前		2					1				
	製パン理論	2前		2					1				
	フードコーディネート論	2前		2			1					兼1	
	カフェマネジメント論	3前		2									
食の流通科目群	地域ブランド論	2後		2								兼1	
	食品の流通論	2後		2									
	国際ビジネス	2前		2									
	組織論	2前		2		1							
	リーダーシップ論	2前		2		1							
	ヒューマンリソースマネジメント論	2後		2		1							
	起業マネジメント論	3前		2			1						
	食と観光のマーケティング論	3前		2			1						
	ホスピタリティと産業	3後		2								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専 修 基 礎 科 目	食の文化科目群 食文化論 食農教育論 和食文化研究 神戸の食と文化	3前		2		1					兼1
		2後		2				1			
		3後		2							
		3前		2		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計(A)	必 修	選 択	自 由	計	
17科目	236科目	0科目	253科目	17科目	236科目	0科目	253科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{253} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	64,716 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	64,716 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	18,040 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	18,040 m <sup>2</sup>			
	小 計	82,756 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	82,756 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
	合 計	82,756 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	82,756 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	5号館増築・改修による 校舎面積増 [29]		
	38,291 m <sup>2</sup> ( 38,291 m <sup>2</sup> ) 38,125 m <sup>2</sup> ( -38,125 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	38,291 m <sup>2</sup> ( 38,291 m <sup>2</sup> ) 38,125 m <sup>2</sup> ( -38,125 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	5号館増築・改修による 教室数の増減 [29]		
	42 -43 室	30 室	55 -53 室	5 室 (補助職員 2人)	4 室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の研究室移動に伴う変更 [29]		
	人間科学部 都市生活学科			11 13 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚教材・機 械・器具購入による冊 数・点数の増加 [29]
	人間科学部 都市生活学科	16,691 [2,091] 16,523 [2,084] (16,441 [2,066])	13 [ 6 ] ( 13 [ 6 ])	0 [ 0 ] ( 0 [ 0 ])	490 466 ( 465 )	25 28 ( 23 )	— ( — )	
	計	16,691 [2,091] 16,523 [2,084] (16,441 [2,066])	13 [ 6 ] ( 13 [ 6 ])	0 [ 0 ] ( 0 [ 0 ])	490 466 ( 465 )	25 28 ( 23 )	— ( — )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,154 m <sup>2</sup>		407		372,500 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,042 m <sup>2</sup>		ゴルフ練習場		テニスコート 9 面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	250 千円	250 千円	図書購入費	200 千円	200 千円	200 千円
	共同研究費等	0 千円	0 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,378 千円	1,078 千円	1,078 千円	1,078 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金 資産運用収入 雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸松蔭女子学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
《AC対象学部等》									
人間科学部		370	0	1,480				兵庫県神戸市灘区 篠原伯母野山町 1丁目2番1号	
心理学科	4	70	0	280	学士(心理学)	0.77	平成16年度	同上	
都市生活学科	4	100	0	400	学士(人間科学)	0.91	平成29年度	同上	
食物栄養学科	4	60	0	240	学士(人間科学)	1.15	平成29年度	同上	
子ども発達学科	4	80	0	320	学士(人間科学)	0.98	平成20年度	同上	
ファッション・ハウジング デザイン学科	4	60	0	240	学士(人間科学)	0.73	平成20年度	同上	
生活学科	4	—	—	—	学士(人間科学)	1.01	平成17年度	同上	平成29年度より学生募集停止
文学部		220	0	1,000					
英語学科	4	110	0	530	学士(文学)	0.68	平成23年度	同上	
日本語日本文化学科	4	60	0	270	学士(文学)	0.61	平成23年度	同上	
総合文芸学科	4	50	0	200	学士(文学)	0.56	平成12年度	同上	
大学院文学研究科									
英語学専攻(修士)	2	5	0	10	修士(英語学)	0.30	平成12年度	同上	
国語国文学専攻(修士)	2	5	0	10	修士(国語国文学)	0.40	平成12年度	同上	
心理学専攻(修士)	2	10	0	20	修士(心理学)	0.95	平成16年度	同上	
言語科学専攻(博士)	3	2	0	6	博士(言語科学)	0.33	平成14年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 都市生活学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	稲澤 弘志 (62)	平成29年4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB WebリテラシーA WebリテラシーB WebプログラミングⅡA WebプログラミングⅡB						
専	教授	竹田 美知 (62)	平成29年4月	都市生活演習A 都市生活演習B 卒業研究 社会調査基礎演習Ⅰ 家族関係学 家族文化論						
専	教授	江 弘毅 (58)	平成29年4月	都市生活論 都市生活プロジェクト演習A 都市生活プロジェクト演習B 神戸論 都市文化論 地域連携論 都市生活インターンシップⅡ データ処理法Ⅱ 都市文化演習 食文化論 神戸の食と文化						
専	教授	駒宮 勉 (63)	平成30年4月	都市生活プロジェクト演習A 都市生活プロジェクト演習B 都市生活演習A 都市生活演習B 卒業研究 都市生活インターンシップⅠ 産学連携プロジェクト演習A 産学連携プロジェクト演習B 組織論 リーダーシップ論 ヒューマンリソースマネジメント論						
専	准教授	青谷 実知代 (42)	平成29年4月	基礎演習A 基礎演習B 都市生活プロジェクト演習A 都市生活プロジェクト演習B 都市生活演習A 都市生活演習B 卒業研究 マーケティング論 消費生活論 食と農の地域インターンシップ フードコーディネーター論 地域ブランド論 食品の流通論 起業マネジメント論 食と観光のマーケティング論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	武智 多与理 (55)	平成29年4月	基礎演習A	兼任	講師	後任未定	平成29年4月	基礎演習A	武智准教授退任のための担当者変更(29)
				基礎演習B			基礎演習B			
				都市生活演習A						
				都市生活演習B						
				卒業研究						
				食生活論	兼任	講師	武智 多与理 (55)	平成29年4月	食生活論	武智准教授退任のための担当者変更、非常勤講師として担当(29)
				基礎栄養学						
				調理実習						
				食品加工学実験						
				官能評価演習						
				フードスペシャリスト論						
				食品加工学						
				食品衛生学						
				発酵学						
専	准教授	鳥居 さくら (49)	平成29年4月	生活行動論						
				都市生活演習A						
				都市生活演習B						
				卒業研究						
				生涯発達論						
				行動科学基礎演習 I						
				行動科学基礎演習 II						
				食行動論						
				香りの科学						
				化粧品心理学						
専	准教授	花田 美和子 (47)	平成29年4月	基礎演習A	専	教授	花田 美和子 (47)	平成29年4月		職位変更(29)
				基礎演習B						
				都市生活演習A						
				都市生活演習B						
				卒業研究						
				衣生活論						
				被服整理学実験						
				被服材料学実験						
				色彩学						
				被服繊維学						
				被服材料学						
				被服整理学						
専	准教授	古家 伸一 (57)	平成29年4月	情報リテラシーA						
				情報リテラシーB						
				WebリテラシーA						
				WebリテラシーB						
				Webプログラミング I A						
				Webプログラミング I B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	前田 直哉 (42)	平成29年4月	生活の科学基礎Ⅱ 都市生活プロジェクト演習A 都市生活プロジェクト演習B 都市生活演習A 都市生活演習B 卒業研究 生活経済学 生活統計学 データ処理法Ⅰ 生活設計論 パーソナルファイナンス理論 パーソナルファイナンス演習 生活リスクマネジメント論 金融商品学						
専	講師	奥井 一幾 (32)	平成29年4月	生活学概論 基礎演習A 基礎演習B 生活福祉論 調査集計演習 共生社会論 住行動論						
専	講師	長谷川 誠 (41)	平成29年4月	基礎演習A 基礎演習B 都市生活プロジェクト演習A 都市生活プロジェクト演習B 生活情報処理実習 調査集計演習 情報社会論						
専	講師	松木 宏美 (58)	平成30年4月	調理学 調理実習 和洋菓子実習 製パン実習 特別調理実習 和洋菓子理論 製パン理論 食農教育論						
兼任	教授	打田 素之 (59)	平成29年4月	フランス語IA フランス語IB	兼任	講師	徳永 雅 (50)	平成29年4月	フランス語IA フランス語IB	フランス語担当教員の再編により担当者変更(29)
兼任	教授	木谷 吉克 (68)	平成29年4月	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 中級実用フランス語A 中級実用フランス語B 上級実用フランス語A 上級実用フランス語B						
兼任	教授	打田 素之 (61)	平成31年4月	フランス語IA フランス語IB フランス語IIA フランス語IIB 中級実用フランス語A 中級実用フランス語B 上級実用フランス語A 上級実用フランス語B						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	土肥 伊都子 (55)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザイン研究 インターンシップ ホスピタリティ・マネジメント	専	准教授	前田 直哉 (42)	平成29年4月	キャリアデザインⅠ	キャリア担当教員の再編により担当者変更(29)
兼任	教授	福田 洋子 (67)	平成30年4月	国際ビジネス ホスピタリティと産業						
兼任	講師	平井 拓己 (52)	平成32年4月	国際ビジネス ホスピタリティと産業						
兼任	教授	古川 典代 (56)	平成29年4月	中国語IC 中国語ID 中国語IIA 中国語IIB 中国語IIIA 中国語IIIB 時事中国語A 時事中国語B ビジネス中国語A ビジネス中国語B						
兼任	教授	待田 昌二 (58)	平成29年4月	現代の教養Ⅱ 消費行動論						
兼任	教授	宮本 憲 (57)	平成29年4月	神戸松蔭とキリスト教 キリスト教の基礎 キリスト教思想Ⅰ キリスト教の歴史Ⅰ 現代のキリスト教 キリスト教と諸宗教 キリスト教礼拝学						
兼任	教授	Alan E. Jackson (62)	平成29年4月	Bilingual Presentation A Bilingual Presentation B	兼任	教授	作井 恵子 (55)	平成29年4月	Bilingual Presentation A Bilingual Presentation B	英語担当教員の再編により担当者変更(29)
兼任	准教授	奥村 正子 (62)	平成30年4月	教会音楽入門A 教会音楽入門B						
兼任	准教授	佐藤 友亮 (45)	平成29年4月	スポーツ実習						
兼任	講師	Simon Bibby (43)	平成30年4月	English Writing A English Writing B						
兼任	助教	Frances Shiobara (49)	平成29年4月	General English A General English B						
兼任	講師	宮田 玲 (45)	平成30年4月	旧約聖書を学ぶ						
兼任	講師	木原 桂二 (48)	平成30年4月	新約聖書を学ぶ						
兼任	講師	狭間 芳樹 (48)	平成30年4月	キリスト教と文化Ⅰ						
兼任	講師	藤井 尚人 (54)	平成30年4月	キリスト教礼拝学						
兼任	講師	伊藤(加藤) 純子 (48)	平成29年4月	パイプオルガン入門A パイプオルガン実習B						
兼任	講師	上野 静江 (56)	平成29年4月	パイプオルガン入門B パイプオルガン実習A						
兼任	講師	倉島 進 (49)	平成29年4月	企業・職種・業界の基礎知識 簿記・会計の基礎 簿記・会計の実践					簿記・会計の実践	開講クラス削減により担当せず(29)
兼任	講師	植田 麻衣子 (47)	平成29年4月	企業・職種・業界の基礎知識 簿記・会計の実践 ファイナンシャル・プランニング						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	村田 正一 (62)	平成30年4月	ファイナシヤル・プランニング						
兼任	講師	岡田 裕子 (44)	平成29年4月	伝わる文章A 伝わる文章B						
兼任	講師	野村 和代 (50)	平成29年4月	伝わる文章A 伝わる文章B						
兼任	講師	尾形 文 (56)	平成30年4月	伝わる話しことば						
兼任	講師	坂上 徹雄 (63)	平成29年4月	コミュニケーション・スキル ディベート演習Ⅰ ディベート演習Ⅱ						
兼任	講師	片山 修 (49)	平成29年4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB						
兼任	講師	住 淳一 (47)	平成29年4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB						
兼任	講師	中本 裕之 (42)	平成29年4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB					情報リテラシーA 情報リテラシーB	授業担当者退任のため担当 せず(29)
兼任	講師	坂田 岳彦 (53)	平成29年4月	コンピュータグラフィックスとアートA コンピュータグラフィックスとアートB						
兼任	講師	濱崎 雅孝 (46)	平成29年4月	現代の倫理 教養演習Ⅰ						
兼任	講師	東野 泰子 (54)	平成29年4月	日本の文学						
兼任	講師	武田 良材 (39)	平成29年4月	世界の文学						
兼任	講師	松下 宏子 (58)	平成29年4月	児童文学						
兼任	講師	黒坂 俊昭 (62)	平成29年4月	教養としての音楽						
兼任	講師	宮地 佳代 (38)	平成29年4月	教養としての美術						
兼任	講師	李 芝映 (43)	平成29年4月	日本の歴史						
兼任	講師	尾崎 秀夫 (57)	平成29年4月	世界の歴史 ヨーロッパ史						
兼任	講師	大久保 元正 (40)	平成29年4月	社会学概論	兼任	講師	連 興楨 (30)	平成29年4月	社会学概論	授業担当者退任のため 担当者変更(29)
兼任	講師	中尾 美月 (46)	平成29年4月	心理学概論						
兼任	講師	日道 俊之 (29)	平成29年4月	社会心理学 人間関係論	兼任	講師	荻原 祐二 (30)	平成29年4月	社会心理学 人間関係論	授業担当者退任のため 担当者変更(29)
兼任	講師	中村 和子 (56)	平成29年4月	社会福祉概論						
兼任	講師	山口 宰 (37)	平成29年4月	ボランティア論						
兼任	講師	奥西 達也 (52)	平成29年4月	現代社会と政治 現代社会と経済 経済学						
兼任	講師	井上 重信 (51)	平成29年4月	現代社会とメディア						
兼任	講師	海道 俊明 (33)	平成29年4月	くらしと憲法 女性と法						
兼任	講師	吉野 健一 (53)	平成29年4月	生物学入門						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田中 良晴 (57)	平成29年4月	地球環境と人間						
兼任	講師	津久井 茂樹 (55)	平成29年4月	くらしの中の統計学						
兼任	講師	原 正之 (57)	平成29年4月	くらしと医療 食物と健康						
兼任	講師	小林 北斗 (33)	平成29年4月	こころの健康						
兼任	講師	中原 朝子 (51)	平成29年4月	ジェンダー論入門						
兼任	講師	巽 真理子 (47)	平成29年4月	女性とメディア						
兼任	講師	木下 昌巳 (56)	平成29年4月	現代の教養Ⅰ						
兼任	講師	根岸 智代 (54)	平成30年4月	アジア史 現代の教養Ⅴ						
兼任	講師	前川 真裕子 (37)	平成30年4月	文化人類学						
兼任	講師	嶋矢 貴之 (43)	平成30年4月	現代の教養Ⅳ						
兼任	講師	田邊 文彦 (61)	平成30年4月	リスクマネジメント論						
兼任	講師	西川 央江 (59)	平成29年4月	女性と健康						
兼任	講師	前田 正登 (54)	平成29年4月	健康・スポーツ総論 スポーツ実習	兼任	講師	村田 和隆 (34)	平成29年4月	健康・スポーツ総論	授業担当者の都合により担当者変更(29)
兼任	講師	板谷 昭彦 (58)	平成29年4月	スポーツ実習						
兼任	講師	益富 真子 (50)	平成29年4月	スポーツ実習						
兼任	講師	D.Chatham (56)	平成29年4月	English Communication A English Communication B Easy English A Easy English B					Easy English A Easy English B	開講クラス数削減により担当せず(29)
兼任	講師	E.Dean (58)	平成30年4月	English Communication A English Communication B						
兼任	講師	M.Lin (36)	平成29年4月	English Communication A English Communication B Easy English A Easy English B						
兼任	講師	上里 友子 (30)	平成29年4月	General English A General English B						
兼任	講師	小池 泰子 (62)	平成29年4月	General English A General English B						
兼任	講師	崎野 悦代 (46)	平成29年4月	General English A General English B						
兼任	講師	M. Benton (61)	平成29年4月	General English A General English B						
兼任	講師	廣瀬 恭子 (59)	平成30年4月	English Writing A English Writing B						
兼任	講師	岩崎 晴海 (54)	平成30年4月	English Writing A English Writing B						
兼任	講師	森岡 高子 (55)	平成29年4月	映画で学ぶ英語A 映画で学ぶ英語B						



設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	澁谷 みどり (47)	平成29年4月	実践英単語 実践英文法 基礎英語 初級英語						
兼任	講師	隠岐 尚子 (42)	平成29年4月	基礎英語 初級英語 中級英語 上級英語					基礎英語 初級英語	開講クラス削減により担当せず (29)
兼任	講師	岩井 麻紀 (43)	平成29年4月	留学のための英語A 留学のための英語B						
兼任	講師	I.Sandhu (41)	平成29年4月	Useful English A Useful English B						
兼任	講師	谷口 千賀子 (50)	平成29年4月	フランス語IC フランス語ID やさしいフランス語会話A やさしいフランス語会話B						
兼任	講師	釣 馨 (52)	平成30年4月	フランス語IC フランス語ID フランス語IIC フランス語IID						
兼任	講師	川口 陽子 (51)	平成30年4月	フランス語IIA フランス語IIB						
兼任	講師	野口 一浩 (54)	平成31年4月	フランス語IIIA フランス語IIIB						
兼任	講師	G.Haraguchi (64)	平成31年4月	フランス語IIIC フランス語IIID						
兼任	講師	中田 聡美 (29)	平成29年4月	中国語IA 中国語IB	兼任	講師	劉 妍 (34)	平成29年4月	中国語IA	授業担当者退任のため 担当者変更(29)
兼任	講師	馮 誼光 (56)	平成29年4月	中国語IA 中国語IB	兼任	講師	田中 裕基 (33)	平成29年4月	中国語IB	授業担当者退任のため 担当者変更(29)
兼任	講師	リン(中川) 洋子 (40)	平成29年4月	中国語IC 中国語ID						
兼任	講師	安 力 (63)	平成30年4月	中国語IIC 中国語IID						
兼任	講師	入江 沢竜 (52)	平成30年4月	中国語IIC 中国語IID 中国語会話A 中国語会話B						
兼任	講師	李 珠彦 (43)	平成29年4月	韓国語 I A 韓国語 I B 韓国語 I C 韓国語 I D						
兼任	講師	李 裕淑 (63)	平成29年4月	韓国語 I A 韓国語 I B 韓国語 II C 韓国語 II D						
兼任	講師	金 智英 (42)	平成29年4月	韓国語 I A 韓国語 I B					韓国語 I A 韓国語 I B	授業担当者退任のため担当 せず(29)
兼任	講師	李 允昊 (45)	平成29年4月	韓国語 I C 韓国語 I D						
兼任	講師	閔 淳奎 (46)	平成29年4月	韓国語 I C 韓国語 I D 韓国語 II A 韓国語 II B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	藤井 千枝 (46)	平成29年4月	日本語 IA 日本語 IB						
兼任	講師	山極 美奈子 (47)	平成29年4月	日本語 IC 日本語 ID						
兼任	講師	古濱 裕樹 (39)	平成29年4月	生活の科学基礎 I						
兼任	講師	平田 陽子 (62)	平成29年4月	住生活論						
兼任	講師	榎 素寛 (40)	平成30年4月	生活と法						
兼任	講師	吉井(谷) 美奈子 (41)	平成31年4月	消費生活論 生活情報処理実習						
兼任	講師	山本 嘉寛 (41)	平成30年4月	インテリア・コーディネート実習						
兼任	講師	松原 千恵 (42)	平成30年4月	社会調査基礎演習 II						
兼任	講師	佐々木 洋子 (37)	平成29年4月	社会調査論						
兼任	講師	白坂 文 (44)	平成30年4月	アパレル生産実習 家族文化演習 アパレル企画論 アパレルデザイン論						
兼任	講師	藤田 佳子 (52)	平成31年4月	カフェマネジメント論 カフェマネジメント演習						
兼任	講師	寺村 ゆかの (57)	平成30年4月	保育・看護学						
兼任	講師	井上 博子 (64)	平成31年4月	消費者法 消費生活コンサルティング論						
兼任	講師	長尾 夏樹 (49)	平成30年4月	家庭電気・機械						
兼任	講師	牛田 好美 (59)	平成30年4月	被服心理学						
兼任	講師	竹市(大畑) 仁美 (49)	平成30年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	渡辺 敏郎 (54)	平成30年4月	食品貯蔵学 食品機能学						
兼任	講師	馬場 公恵 (63)	平成31年4月	食品学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	湯木 潤治 (59)	平成31年4月	和食文化研究						
					兼任	准教授	P.J.Mallett (57)	平成29年4月	General English A General English B	英語担当教員の再編、クラス数増のため(29)
					兼任	講師	酒谷 友香子 (57)	平成29年4月	スポーツ実習	授業担当者退任のため担当者変更(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	6	3	0	13	4	4	3	0	11	5	5	3	0	13
(3)	(6)	(2)	(0)	(11)						[ 1 ]	[ Δ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	3
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	武智 多与理	必修	基礎演習A	②	一身上の理由により、平成29年3月をもって退任（29）			
			必修	基礎演習B	②				
			必修	都市生活演習A	③				
			必修	都市生活演習B	③				
			必修	卒業演習	③				
			選択	食生活論	②				
			選択	基礎栄養学	③				
			選択	調理実習	③				
			選択	食品加工学実験	③				
			選択	官能評価演習	③				
			選択	フードスペース・シヤリスト論	③				
			選択	食品加工学	③				
			選択	食品衛生学	③				
選択	発酵学	③							
合計（A）				後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	2 科目	必修	3 科目
		選択	9 科目	選択	0 科目	選択	1 科目	選択	8 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	14 科目	計	0 科目	計	3 科目	計	11 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	3 科目
		選択	9 科目	選択	0 科目	選択	8 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	14 科目	計	0 科目	計	11 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一身上の理由による専任教員の退任に伴い、平成29年度は兼任教員を配置しているため、授業の実施に支障はない。  
学生に対しては、全員に配付する「履修ガイド」に掲載し、周知している。  
なお、「後任未定」のため、平成30年4月から専任教員採用の予定で公募中である。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (28年7月)	英語学科及び日本語日本文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成29年度入学生より英語学科の定員を30名、日本語日本文化学科の定員を10名減らした。その結果、英語学科の平成29年度の定員充足率は0.84に改善された。一方、日本語日本文化学科は0.61にとどまった。	平成31年度に文学部を改革し、日本語日本文化学科の学びを一層充実させる予定である。
	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	退職年齢を63歳から65歳へと規程を改正し、その後は70歳まで再雇用とした。その結果、完成年度前に退職年齢を超える専任教員の割合は減少した。	
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)				

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間科学部 都市生活学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更無し	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会 開催回数10回</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法について研究会</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 授業評価アンケートの実施など</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法について研究会 年2回 学外から講師を招いて実施</li> <li>・ 教員相互の授業参観 年1回 1週間、ほとんどの授業で実施</li> <li>・ 新任教員のための研修会 年1回 非常勤講師を含めて実施</li> <li>・ 授業評価アンケートの実施など 前期と後期で全科目実施</li> <li>・ シラバスを各学科、学部で点検</li> <li>・ 授業評価アンケートをもとに自己点検・評価を実施</li> </ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p style="text-align: center;">《前期》7月1日(金)～28日(木)実施科目数 688科目 《後期》1月7日(土)～2月4日(土)実施科目数 719科目</p>	<p>b 教員や学生への公開状況、方法等 学内サイト（学内専用）に掲載</p>
---	---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期 平成28年4月
b 公表方法 自己点検・評価報告書をホームページ上で公開
③ 認証評価を受ける計画
・平成27年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、適合の評価であった。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 29 年 6 月 末日まで )